



## みんなの考えを共有しようの巻(4) 方法の工夫編①

◆引き続き、前期末テストの振り返りからの共有です。まだまだあるので、しばらくはこまめに発刊します。

Check!  
01

### 方法の工夫(どうやってる? 何に重点置いてる?)編



#### ①使っているもの編

- ・学習アプリ(携帯)を使っている
- ・クロームブックを活用している

どんな風に活用しているのか詳しく知りたいなー

#### ②何に時間をかけてる? どう時間をかけてる? 編

- ・暗記に重点を置いている
- ・予習や復習を自らやる
- ・暗記系と自分で考える系の問題に分けて学習している
- ・ただワークを何周もするのではなく、できなかったところや難しかったところを多く学習している

授業の予習・復習は大事!  
人から言われる前にやり始めると気分も楽だよな。

#### ③応用よりもまずは基礎、編

- ・基礎をバッチリしてから、応用に取り組む
- ・小テストやワークで自分の苦手分野を把握し、テスト前には必ず基礎から確認する
- ・苦手な教科は応用問題からやるのではなく、基礎の問題から取り組んでいる

できないことや時間がかかることは、考え方が身につくまで繰り返す必要があるよね。

足元を固めることが大切!  
基礎をしっかり&スピードつければあとで実力がグンと伸びるよ!

#### ④ワークや問題集の取り組み方 編

- ・できるまで何回も解く
- ・繰り返し同じ問題をといている
- ・ワーク、授業のノート、教科書などは三周以上する
- ・ワークで間違った問題を必ず何回か解き直す
- ・関連する問題を解く

書き込むのは繰り返した後の最後の仕上げ、という人も。

#### ⑤何回もやるためには 編

- ・完成ノートなどは何回も復習できるように、書き込まないでノートを使い問題を解いている
- ・理科や社会のワークは、オレンジペンで書き込み、赤シートで隠して、電車に乗っている時間に勉強する

いろいろな工夫がありますね。基礎と繰り返しを大切にしている人が多く、今後の伸びが楽しみになってきました。

数学の応用問題が辛い人は、基礎の問題でしっかりと「できる、できるぞ!」という感触をつかんでから、応用に取り組むのがよさそうです(それでも効率が…という人は次回をうご期待)。英語の長文も、教科書の文章や短い文章が理解できるかを確かめるところから small step で取り組んでいくのが大切です。(基礎でつまずく人は先生に聞きに行こう!)

また、基礎でも応用でも問題を1回解いて終わりではなく、タイムトライアルをしてみたり(思考のスピードアップに効く)、友達に説明してみたり(知識の定着に効く)、というように、目的を変えて周回してみてもいいです。



Check!  
02

### Q&A コーナー「暗記科目が思うようにいかないです」

まずは、生徒の皆さんから寄せられた、暗記に関する工夫をご紹介します。

- ・暗記教科のワークはオレンジペンで解いて、2周目以降はノートに書かずに赤シートを使って何周もして覚える
- ・インターネットにある動画の一問一答などで暗記をする
- ・友達と一問一答形式で問題を出し合って学習する
- ・声に出して暗記する
- ・一つずつ覚えるのではなく、結び付けて覚える
- ・英単語はちゃんとした発音で読むだけでなく、書くときわかるようにローマ字読みでも読んで書けるようにしている
- ・暗記科目はまとまりごとに夜勉強して朝復習を1週間でサイクルする

ポイントは①用語・単語と何度も出会う ②覚えやすいよう工夫する(声に出す、関係づける、語呂合わせなど)

#### ③夜に覚えて朝に確認(寝ている間に脳が情報を整理する現象を利用する)、④①~③の組み合わせ、です。

英単語や漢字は手で書くことも大切です。手を動かすことで、記憶が運動をつかさどる脳の部分と結びつくとか。社会や理科の用語などは、話の流れを自分なりに図示してみたり、関係性をマッピングしてみたりするのも記憶に残りやすいです(手書き推奨)。関連するマンガなどで記憶のきっかけを作るのもアリです。

覚えた言葉を実際に使ってみる、というのも効きます。英語は Timothy に話しかけるときに使ってみては? 国語でも、新しい言葉はどんどん使ってみてください。そうやって、表現力も広げていってほしいです。